

令和 2 年度
学校関係者評価報告書

リリーこども&スポーツ専門学校
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価について

リリーこども&スポーツ専門学校は、令和3年7月16日に「令和2年度学校評価報告書」の結果をもとに、学校関係者評価を実施いたしましたので、以下のとおり報告いたします。

2. 学校関係者評価委員

1) 業界企業団体関係者

能本守康 株式会社ケアファクトリー 代表取締役
田仲一徳 リリースポーツクラブ 校長
森山進吾 茨城県キャンプ協会 理事
塩田則男 株式会社阿吽 代表取締役
鈴木研介 リリーバール小学校 教頭

2) 卒業生

羽生美穂 リリーの森幼稚園 園長
森田貴代美 ヴィクトリアナーサリー 園長

3. 評価領域ごとの学校関係者評価・意見

1) 教育理念・目的・人材育成像

- ・「夢と志を持って新しい価値を創造する人材の育成」を教育理念とし、専門的な知識と技術を備えた人材の育成に努めている。
- ・実習により現場での経験をさせることで即戦力となる人材の育成に努めている。
- ・業界と連携し、現場で求められる人材の把握に努めている。
- ・学校の理念などをどのように具現化できたかの評価が重要であり、今後の仕組みの在り方について検討されたい。
- ・教育理念、教育目標、人材育成に関して明確に定められており、適正である。今後、職員及び学生への教育の在り方、評価方法についてさらに深めていくことを期待する。

2) 学校運営

- ・運営方針、事業計画を策定し、職員間で共有されている。
- ・組織図を明確に示しており、意思決定機能が明確にされている。
- ・新たに学生管理システムを導入するなど、業務の効率化に努めている。
- ・社会的ニーズとして ICT や AI(人工知能)などの導入が進む中で、時代に対応できる教育環境の推進に努められたい。

3)教育活動

- ・教育理念に基づき適切に教育課程が作られており、教育活動も適切に行なわれている。
- ・業界のニーズの把握には努めているようだが、中長期的な業界の動きを見据えた人材育成について再検討する時期にあるのではないか。
- ・学生の成績評価、単位認定の基準は明確であり適切に運営されている。
- ・教育活動の充実を図るため、カリキュラムの作成及び見直しの実施、教員間の密な連携を図るための実態調査により評価体制の確立を検討されたい。
- ・実務経験のある教員を確保している点は評価できる。今後は現場のニーズに即した新たな手法による指導ができる教員の確保にも努められたい。
- ・さまざまな人との交流や社会体験が学生を育てるため、そのような機会が増えることを願いたい。
- ・卒業生への情報発信など、卒業生への支援の充実も図られたい。

4)学修成果

- ・例年高い就職率を維持している。個別指導に注力していると聞いており、職員の努力がうかがえる。
- ・健康スポーツ学科の資格取得率が低迷している。資格対策講座の強化など対策を講じられたい。
- ・退学率を低減させるために個別面談や保護者との連携をされていると聞いている。今後も継続するとともに、さらに退学者を減らすための組織づくり等を検討されたい。
- ・退学者数を減らすためにも、退学理由等の分析を実施し、具体的事例から事例研究等を行い、学習面・生活面での学生指導に役立てていくことを期待する。
- ・資格取得が目的とならないよう、広い視野に基づいた教育体制を維持されたい。さまざまな学びの中で資格も取得できるというスタンスが重要である。

5)学生支援

- ・学科、学年担当制が学生の学習、就職、生活面等の総合相談窓口として機能している点は評価できる。
- ・年間3回の保護者会の開催に加え、学生に問題が生じた場合の保護者との連携体制が整えられており、家庭と協力した教育に努めている。
- ・卒業生への情報発信等、卒業生の支援に努められたい。
- ・特に外国人留学生は厳しい環境の中で学びと生活に励んでおり、生活全般も含めた対応が期待される。
- ・まだまだ新型コロナウイルスの感染が懸念される。学生に気の緩みが出ないように、継続した対策を期待したい。

6)教育環境

- ・業界と連携し、実習施設の確保に努めている。また海外研修についても受け入れ先との連携に努めている。
- ・教育に必要な施設・設備は整えられているが、一部老朽化しているものが見受けられる。機材の入れ替え等を検討されたい。またインターネット環境が一部の教室に限られている。今後のICTの活用等を踏まえ、環境整備を検討されたい。

7)学生の受け入れ募集

- ・ホームページのみならず、SNSを活用した情報発信に努めている。また、オープンキャンパス、保護者向け説明会、個別相談会など、年間20回以上のイベントを開催しており、学生募集に努力されている。
- ・オープンキャンパスで学生スタッフの活躍の場をより多く設けるなど、教育内容をアピールできるような新たな仕組みを検討されたい。

8)財務

- ・中長期的に財務基盤は安定しており、予算、収支計画等も妥当である。
- ・定期的に会計監査を実施しており、適切に行われている。
- ・少子化の進行によりますます教育業界の厳しさが増す中で、今までの概念にとらわれず、次世代に向けたビジョン策定が重要である。

9)法令等の遵守

- ・各種資格養成課程、および専修学校専門課程の設置基準を遵守し適切な運営がなされている。
- ・個人情報保護について、守秘義務等の確認をしている。今後は誓約書等を整備し、さらに強化するよう努められたい。
- ・法令と合わせ倫理的な遵守を含め、チェック機能があるべきであり、それを対外的に示すことが重要である。

10)社会貢献・地域貢献

- ・外部の講習会や試験会場としての貸し出しを行っている。またアリーナは幼児体育のスクール会場として貸し出している。
- ・いきいきいばらきゆめ大会のボランティアとして多数の学生が準備段階からかかわったことは評価できる。また、近郊で実施されるスポーツ大会にも多くの学生がボランティアとして参加している。今後も多くの学生がボランティア活動に参加できるよう努められたい。